

第7回

医療をささえるコミュニケーション・セミナー In東北2015



東北地方をはじめとする各地域で活動しておられる模擬患者さん、医療コミュニケーション教育に関わっておられる教職員、興味をお持ちの一般の方を対象としたセミナーを開催します。

今回は、東京大学の模擬患者の会（つつじの会）で活躍しておられる孫先生がゲストです。参加者の皆さんに役立つ楽しい企画にしたいと思っております。どうぞ、気軽にご参加ください。

福島医大模擬患者の会コーディネータ 石川 和信

日時 平成27年11月3日(文化の日) 13:00~17:00 (受付12:30~)

場所 コラッセふくしま 5F研修室

内容 特別講演 「住民参加による地域の健康づくりを目指して」

～まち歩きから考える地域医療～

東京大学 大学院医学系研究科医学教育国際研究センター 孫 大輔 先生

超高齢社会を背景として、住民参加による地域包括ケアや健康づくりが大事だと言われるようになってきました。しかし「住民参加」とはどんなもののでしょうか。どのようにすれば、市民と専門家が垣根を越えて、地域の健康づくりに向けて協働できるのでしょうか。

2010年より市民との対話「みんくるカフェ」を続け、最近では、まち歩きや地域診断という取り組みを通して、住民と協働した健康づくりを模索しています。この取り組みについてお話し、参加者と「ワールドカフェ」という対話形式で、ともに考えてみたいと思います。



経歴 博士(医学)、博士(看護学)、
日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医
2000年東京大学医学部卒。腎臓内科、総合診療(家庭医療)を専門として勤務を続けた後、2012年より現職。医学教育および研究に携わりながら、家庭医としての勤務を続けている。研究テーマはヘルスコミュニケーション、医学教育学、多職種連携教育など。2010年8月より市民・患者と医療者がフラットに対話できる場「みんくるカフェ」を主催している。

模擬患者グループの近況報告

仙台 SP 研究会 DATTE

響き合いネットワーク山形 SP 研究会

秋田大学SP会

福島医大模擬患者の会 FAMCOM

—対象—

医療コミュニケーションに関心のある方、模擬患者、医学生、看護学生、臨床研修医、医師、看護師、検査技師、栄養士、その他の医療関係者

お問い合わせ先・お申し込み先

申込用紙は裏面です

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター／教育研修支援課

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1

Tel : 024-547-1095

Fax : 024-547-1989

e-mail : famcom@fmu.ac.jp

HP : <http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html>

